

### 事務所長からのメッセージ

- 道北地域の景気は、弱めの動きとなっています。9月9日に公表しました「[金融経済概況（道北地区）](#)」では、基調判断を先月までと同様の表現に据え置きました。本年7月に公表しました金融経済概況で、それまでの「やや弱めの動き」から「弱めの動き」に修正しましたので、これで3ヵ月連続の据え置きとなります。
  
- 当月の経済情勢全般については、先月このコラム（「事務所長からのメッセージ」）で解説した内容とほぼ共通しています。ポジティブな動きを中心に最近の特徴点を紹介しますと以下のとおりです。
  - (1) 旭川空港の利用客数が堅調に伸びています。これには、二つの要因があります。一つは、本年4月に新規就航となった東京便による効果。二つ目は、台湾をはじめとした国際チャーター便による効果です。台湾からは定期便を就航してもらえるよう関係者が鋭意努力をされています。是非とも実現されることを期待しています。
  - (2) 普通合板の生産、出荷が堅調です。道外向け出荷を牽引として本年2月頃から増産体制に入っていますが、4月頃より道内向け出荷も堅調に伸びています。この背景としては、道内外の住宅需要が増加したこと、海外の木材が割高となり道産材（針葉樹）のニーズが高まったことがあげられます。
  - (3) 旭川市の一般住宅建築確認申請件数、同床面積、住宅戸数とも大幅に増加しました。改正建築基準法が施行されたのが昨年6月ですから、これによる落込みから漸く一巡したという部分もありますが、今後注目したいと思います。
  - (4) 生乳出荷が堅調です。毎月の金融経済概況でもご確認いただけますが、昨年来、極めてコンスタントに出荷を伸ばしています。チーズをはじめとした乳製品に対する世界的なニーズの高まりが背景にあると思います。
  
- 旭川をはじめとした上川地域では秋の収穫のシーズンとなりました。年々グレードアップしている道産米をはじめ豊富な農産物が市場に並びます。旬な食材をたくさん食べて、我々一人ひとりの中から活性化していきましょう。

「実るほど こうべを垂れる 稲穂かな」

平成 20 年 9 月 9 日

尾家 啓之